

\*\*\*\*\* 木材団地ニュース \*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*



# あたらき大地

\*\*\*\*\*

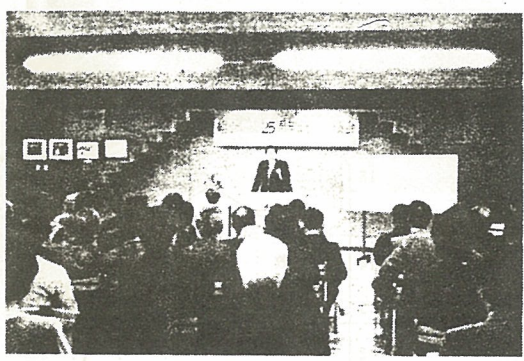


大阪木材工場団地協同組合 \*\*\*\*\*

1988年 3月号

NO. 25

## “草柳大蔵氏を招いて記念講演会を開催”



《 記念講演会風景 》

昨年の組合創立25周年記念事業の一環として企画された記念講演会は、去る2月17日(水) 午後6時から同7時半まで、ウッドルーム大阪研修室に於て聴講者約120名の参加により盛大に開催された。

講師の草柳大蔵氏は、巾広い分野で豊富な知識を持たれ優れた洞察力のある評論家として定評があり、今回は“世界の中の日本”と題しての講演であったが冒頭、日本林業についての問題点に触れられ、米国大

手木材業者が日本の山林を根こそぎ買収しようと計画している話には、聴講者全員度胆を抜かれた。

又、今年の景気見通しについては、米国大統領の交替や、泥沼化しているイラン、イラク戦争の中近東情勢にからめて、日本の置かれている状況や立場を解説され、今年上半期の経済は上向きで推移するが、アメリカの大統領選挙のある11月以降の見通しは、混沌として全く予断を許さない状況であると予想された。

これからのあらゆる産業に通ずる問題として、物の価値観や、人間の感性の変化に応じた物づくり、販売、サービスが求められる時代に突入している事を、色々な事例を挙げて解り易く解説された。又、最近の話題として、先般の大韓航空機撃墜事件にも触れ興味のある推理も披露された。

氏の中広い知識は、冒頭の山林業に関連した、農林関係の数値的な資料の正確さや、グローバルに見た世界情勢の動向の信憑性に表われているように感じられた。

講演会終了後、組合会館2階において草柳先生を囲んで懇親パーティーが開催されたが、参加者から熱心で且つ適格な質問が飛び交うなど、終始なごやかな懇談で、先生も『非常に楽しいパーティーでした』と話されていた。

今回の講演会は、組合創立25周年記念事業の最後を飾るに相応しい行事であったといえよう。



## “ウッドリーム大阪”だより

### ★ ウッドリーム友の会より

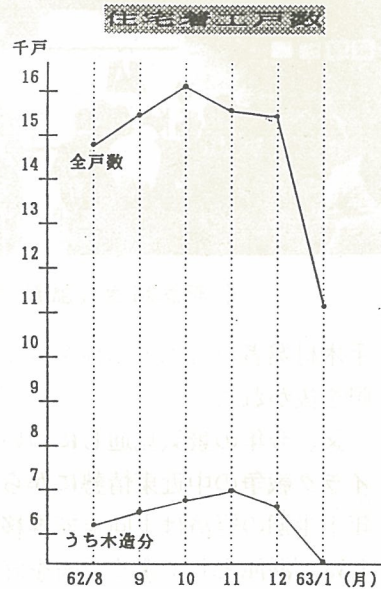
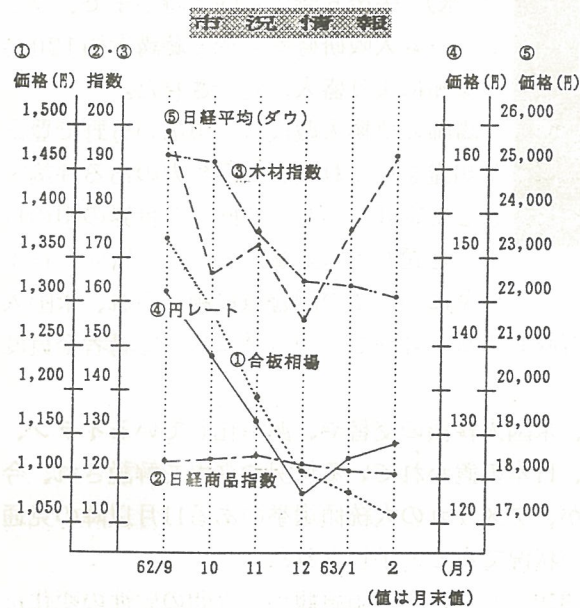
#### ○ 昭和63年度会員募集について

木のふれあいサークル『ウッドリーム友の会』では、63年度会員を募集しております。62年度会員に加入いただいております組合員の方は、引き続き再登録していただき、未だ加入されていない方は是非加入していただきますようご案内いたします。詳細については友の会事務局(0723-61-2030 担当 牧山)まで、ご照会ください。

#### ○ 第3回木のふれあいツアーの開催について

友の会のメイン事業、“木のふれあいツアー”(第3回)では、来る4月9日(土)～10日(日)に竜神林業と日高町の黒竹(和歌山県)を訪ねる企画をしております。

楽しさ満喫、紀州路ふれあいの旅へ、是非多数ご参加下さい。  
(詳細は後日改めて案内させていただきます。)



## “郵便局”だより

### 「木材団地簡易保険友の会」が結成される

既報でご案内のとおり、年始より簡易保険団体扱制度(簡易保険には保険料の団体払込制度があり、15名以上であれば団体保険料として割引をうけることができる制度)の加入者を募集していましたが、2月中に20名ほどの申込みがあり、このほど月払(割引料7%、うち2%分は団体の事務手数料)による『木材団地簡易保険友の会』が結成されました。

この団体扱いによるメリットを生かすためにも各社の役員、従業員及びその家族の

方で加入を希望(既に簡易保険に加入されている方の団体扱いへの切替でも結構です。)される方は、今後ともぜひお申し込み下さるようご案内いたします。

なお、上記割引料のうち会員の皆様に還元される5%分については、とりあえず1年分をまとめて何らかの形でお支払いすることにしております。

(組合事務局 担当 吉村・田中)

## “木栄会”だより

### ★ 金剛山耐寒登山を実施



《耐寒登山風景》

去る2月11日(木)〔建国記念日〕同会初めての試みによる表記耐寒登山が、31名の参加者のもとに実施された。

当日は風もなく穏やかな天候に恵まれ、山頂付近はまさに“樹氷の花咲く白銀の世界”で、登りの苦しさを忘れさすほどのすばらしい冬山の景観であった。

この登山はモーターリゼーションに慣れた会員の体力養成に主眼をおいて実施されたもので、大自然のもと新鮮な空気を吸いながら汗を流し、目的を十分に満たし、また心をリフレッシュした一日であった。

なお、この登山は来年以降第2回、第3回と企画を予定しています。当日の参加者31名は次の通り。

所 属	氏 名	所 属	氏 名
(株) 葵 建 装	橋 本 健 介	(株) 紅 中	黒 木 弘 知
大阪単板工業(株)	千々岩 優 人	〃	山 本 友 治
共立木材(株)	磯 口 龍 一 郎	〃	芝 本 英 己
大平林業(株)	門 崎 真 澄	〃	安 宅 征 治
(株)高島屋工作所	垣 田 修 身	〃	畑 中 和 男
〃	坂 西 義 洋	(株)丸正製作所	和 中 禎 造
(株)電 産	井 上 勝	松 本 商 店	松 本 積・家族2名
〃	井 上 嘉 織	組 合 事 務 局	田 中 義 輝
東 部 木 材 (株)	高 島 正 一	〃	牧 山 孝 司
〃	矢 野 威 志	〃	山 本 郁 生
中 畑 木 材 (株)	中畑安件・家族1名	〃	山 口 幸 男
(株) 紅 中	松 葉 和 雄	〃	佐 々 木 幸 男
〃	大久保 弘 実	〃	野 崎 栄 美 子・家族2名

★ 第2回木材団地サミットのご案内

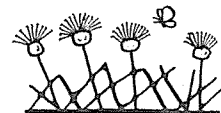
来る3月23日(水)、午後6時より「ウッドリーム大阪」研修室において、第1回(S 62.11.18)に引き続き、当会情報交流委員会企画による第2回表記サミットが開催されます。

今回はパネラーに中村暢秀(㈱紅中専務)、和中禎造(㈱丸正製材所専務)、山谷吉良(ヤマキインテリア㈱社長)、浦本雅史(浦本木材㈱社長)、成瀬良彦(成瀬特殊木材㈱社長)、コーディネーターに中川藤一(大阪木材工場団地㈱理事長)、以上6氏が決っており“21世紀への木材業界の展望”というテーマで活発なパネルディスカッションが予想されます。

皆様にとって非常に興味ある有意義な催しと思しますので、是非多数ご参加下さい。(詳細は後日改めて案内させていただきます)

★ 昭和63年度(63/4～64/3)木栄会事業計画

年月	担当委員会	事業内容
63.4.	合同	昭和63年度通常総会(4月19日)
〃	研修委員会	関西新空港に関する講演会(4月19日総会前)
63.5.	情報交流委員会	未定
〃	研修委員会	安全運転講習会
63.6.	情報交流委員会	第3回木材団地サミット
63.7.	研修委員会	フォークリフト運転技能講習会
63.8.	合同	PL花火大会駐車場設営(8月1日)
〃	親睦委員会	バスツアー
63.9.	情報交流委員会	未定
〃	研修委員会	安全運転講習会
63.10.	親睦委員会	焼肉パーティー
〃	合同	ウッドフェア出店(10月29日,30日)
63.11.	研修委員会	第2回火災予防講習会
63.12.	親睦委員会	忘年会
〃	合同	第3回木材団地紅白歌合戦(12月23日)
64.1.	合同	組合新年互礼会協賛
64.2.	合同	第2回耐寒登山
64.3.	親睦委員会	未定



【組合員企業の紹介シリーズ】『うちの会社』



〔その25〕

㈱電産 社長 井上 則一

当社は、昭和50年、美原町丹上にて木製組立式下駄箱の製造販売を目的に創業設立、55年羽曳野工場を設置し、58年当組合に加入させていただき、本社工場を移転し現在に至っております。

製造品目も51年より木製学童机、その他吊戸棚、各種ユニット家具、ポストフォーム加工天板、台所用ワゴン・食器棚、スーパー向け洋服ダンス等、量産メーカーの道を歩んでおります。

又、一方では各種実験室設備の家具等、少量生産品目にも力を入れ、厳しい時代のユーザーの多様な要望に迅速かつ的確に応えるとともに、安価で供給できるようコストダウンに努力いたしております。

最後に、よく人々から社名の由来を聞かれますが、会社を設立するに当たり、20数年間、木製電子キャビネットの製造を通じて色々なお世話に預かり、商売のイロハをお教えたいただいた松下電器産業㈱に感謝の意味と、あやかりたいと思う気持ちで㈱電産といたしました次第でございます。

今後とも皆様が大宜敷お願い申し上げます。



“環境整備すぐやる課”だより

当課では、団地内環境美化の事業を名称のとおり、迅速に実施いたしております。去る1月初旬に、団地六条通り、クボタ精機東側の空地にゴミを不法投棄した、不心得者がありました。過去にも、この場所に不法投棄する者があとを絶たず、杭と番線で空地の囲いをするなど対策を講じてきました。

今回の事件は、その杭を倒してまで投棄していたもので、私達もずいぶん憤りを感じ、黒山警察署、防犯課に通報の上、犯人検挙のため現地に立ち会い、ゴミの山から証拠品をさがし出すなど、犯人逮捕に協力しました。

犯人は、近郊の業者で、警察よりゴミの回収を命ぜられたばかりか、厳しい処罰を受けたようです。この事件を機会に、当課では黒山警察署と連名の“見逃しません、ゴミの不法投棄”というアピール看板20枚を作製し、区域内に設置いたしましたが、今後とも不法投棄だけではなく、環境美化を妨げる行為に対しては、積極的に取り組んでいく方針です。

今後とも、皆様方のご協力をお願いいたします。

『日頃の心がまえ』

- (1) 一步先に立って考えてみよ。
- (2) 上役の本音に肉迫せよ。
- (3) 行動に移さねば考えていないのと同じ。





## 『ちょっと一言』



永大産業株式会社 東 尾 禮 二

昭和48年に木材団地へお世話になって15年がたちました。よい環境で事業を展開できたことを感謝しております。

さて、昨年は167万戸という戦後3番目の新設住宅着工に支えられて、久しぶりに好調な一年でしたが、これからの内外の状況を冷静に考えますと、必ずしも楽観はできません。当社としては、住宅は量から質の時代に入ったと考え、よりよい住宅・より潤いのある住宅の為の資材のトータル開発を「ウッディシステムライフ」という形で推進しておりますが、これは又木材団地の目ざしておられる流れとも一致するものと考えます。

お互いの情報交換を密にして、新しい時代の流れに対応してゆきたいと存じますので、何卒よろしく願い申し上げます。

## 【 団地内のうごき 】

### ◎ ㈱ 関西ランバーの組合加入について

去る2月9日付で、新規組合員として㈱ 関西ランバーの組合加入が承認されました。尚、代表者 福井教男氏は組合員(株) 福井木材商店社長 福井時男氏の実弟です。

企業名	株式会社 関西ランバー
代表者	福井教男(のりお)
資本金	500万円
主要取扱品目	家具材・陳列材・建具材・内装材販売



## 【 事務局だより 】

### ◇ 情報資料の貸出について

情報資料室に設置している書籍、資料は従来貸出しは禁止されていましたが、利用者からの要望もあり、今後とも十分に活用していただくために、このたび貸出規定を作成の上、貸出しを認めることになりました。

より一層ご利用いただきますようご案内いたします。  
(詳細については組合事務局までご照覧ください。)



### ◇ 木質廃材利用の自家発電装置について

木材の加工過程で必ず発生する各種廃材を有効に再利用しようとする試みは、過去にもずいぶん研究され試験もされてきました。当木材団地でも各組合員から出る廃材の総量は、一日当り4t車10台分(約150m<sup>3</sup>昨年12月調査数値)にもなります。又、この処理のための費用が以前にまして、各組合員の負担となっているのが現状です。

このため組合では、現在共同廃材処理施設を検討中ですが、それと併行して廃材処理から生ずる自家発電についても研究中です。発電の方法は、①おが屑の発生ガスによる発電と、②廃材の焼却熱利用による発電があるが、双方ともエネルギー財団の指導の下で、すでに実用化されています。

前者は戦時中に活躍した、木炭ガス自動車と同じ原理で、おが屑をスモークさせた時に発生するCOガスを内燃機の燃料として利用し、その回転力で発電タービンを回して電気を発生するものです。現在三重県美杉村の木工製材所で三重大学の協力のもとに、1号機、2号機が実用稼働しており、100KW/Hの発電が自家使用されています。

後者の装置は、いわゆる木質系廃材を燃料とするボイラーの蒸気タービン発電で、島根県の家具製造工場実用化されています。

いずれの装置も廃材等の有効利用による発電方法である点は共通であるが、①の装置については小型工場用、②については大型工場用に適しているといわれています。なお運営上の問題点としては、電気料の値上がりや設備の償却、燃料廃材の確保などがあり、組合としても目下慎重に検討を重ねている状況です。

### ◇ 組合創立25周年記念歌のレコードの製作について

昨年の組合創立25周年記念として組合員の関係者で、作詞作曲された『あたらしき大地』と『木材団地音頭』の唄を、このたびレコード化いたしました。(既に各組合員に配布済み)

ウッドリムをバックにしたジャケットを初めコーラス、演奏等も全て組合員有志で行われたユニークなもので、曲については皆様方もよくご存知だと思いますが、今後共、末長く愛唱していただくよう希望いたします。

なおこのレコードは、“地域で作った手作りレコード”として、ミニコミ紙『あさひぴーぷる』2月10日号でも取り上げられ(別項参照)、木材団地のパブリシティに一役を買うことができました。

### 木材団地

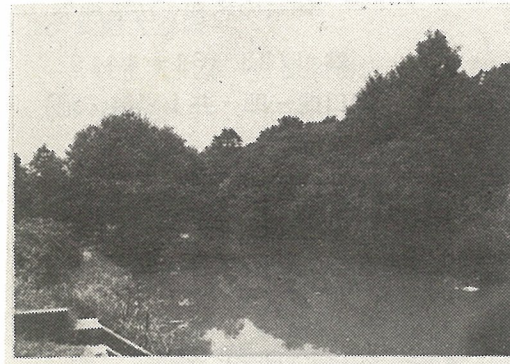
## 地域で作った 手作りレコード ユニークな新譜紹介!



昭和三十七年美原町に大阪木材工場団地(協)が設立。山と池の大地に根を下ろして昨年は創立二十五周年を迎え、多彩な記念事業を行いました。その一環として生まれた記念歌『あたらしき大地』、『木材団地音頭』がこのほどレコード化(ドーナツ盤三百枚)。この二曲はどちらもA面、早速レコードに針を置いてみました。

『あたらしき大地』は、男女八人の混声コーラスにキーンボードのシンフルな演奏、さわやかに木材団地を歌い一度聞いただけですく覚えたい音頭です。サンバで、親しみやすいメロディに木材団地音頭は、ホイッスル(笛)やタンバリンの音入りサンバのリズムでノリのいい音頭です。サンバで、

地域あれこれ (1)



《黒姫山古墳(堀)》

私たちの生活や業務の基盤である美原町の歴史的遺産というべきものを紹介するとすれば、まず最初に屈指されるものは何といっても「黒姫山古墳」であろう。

全長114m、前方部幅65m、その高さ11.6m、後円部径64m、その高さ11mの墳丘をもった西面の前方後円墳で、周囲に濠と周庭帯をめぐらせている。

築造は5世紀中頃(雄略天皇の時代・中国では南北朝・朝鮮では三国・欧州では西

ローマ帝国滅亡の時代)と考えられ、この地方の有力氏族丹比(たちひ)氏の首長の墓と推定されている。

応神天皇陵を中心とする古市古墳群と仁徳天皇陵を中心とする百舌鳥古墳群との中間に位置する単独の古墳として有名。

「黒姫」という名は「記紀」「万葉集」にもないが、「黒山」という地名は「日本書紀」孝徳天皇の大化5年(西暦649年)の条に認められる。従ってこの頃にはすでに黒姫山古墳は出来てから200年ほど経っていることになり、築造時に植栽された樹木も黒々とうっそうとして茂り、平野の只中で格好の目印となっていたことであろう。それで黒山という名が付いたのかもしれない。

この墳墓の主丹比氏については「書紀」「万葉集」にも色々出てきて興味深いが、その詳細は次回の「丹比神社」のところで紹介することにしたい。(田中繁男・記)

＜周辺の“味”散歩＞ …… その1

＝ 法雲寺 黄檗普茶料理 ＝



禅寺の日常献立は、極めて質素なもので、朝は粥と漬物、昼・晩は飯と一汁一菜が精々である。本来、普茶は客人を招待する時、ご馳走に用いられたと伝えられている。仏様にお供えした種々のものをお下げして、それで作り、禅門のことであるから質素を旨として、材料等でも一物をも無駄なく、一葉をも尊重して作られたものである。今日では、更に工夫をこらし植物油と昆布だしをふんだんに使った栄養食として、注目を集めている。

食作法としては、四人が一卓を囲み、一碟一鉢のものをちりれんげで小皿に取って食べ、親疏商下の隔てなく、和合の精神を養うのが主旨である。一度俗世界を離れて閑静なお寺で素朴な「普茶」の心に慕われてみてはいかがですか。

- 一人前 6,000円
- 時間 正午～午後4時
- 要予約 1週間前に4人以上で(但し土・日曜日を除く)

ダンス、団地でサンバの嘶しが楽しさをより上げています。このレコード、作詞、作曲、コーラス演奏、振り付け、ジャケットの写真に至るまですべて手作り、アマチュアの手によるもの。プロの手を貸りたのは印刷とプレスだけ。大阪府下でも地域の手作りレコードは例がないといえるのでは。「木材団地音頭」についてお話を伺ってみました。

木材工場団地(協)理事長の作曲が木栄会バンド、振り付けは、若柳流一級師範の若柳吉恵さん「良い曲だったので聞いてすぐ振り付けてきました」とのこと。この音頭は、歌詞の中に「アメニテイ我らの町の合言葉」も歌われ、楽しんで作ったということ。盆踊りの時期だけでなく、老人会、例会でも踊って、若い人にもウケる音頭として大成しました」と村上さん。

昨年十月にレコーディング、十二月末にレコードが出来上り、一月に各方面の方々の手元へ届けられました。二曲とも作曲した木栄会バンドはメンバー五人、音楽大好き少年が自然に集まり六十一年から活動開始しているアマチュアバンドです。音楽で育った世代だけに音楽性は高く、ジャズ以外の軽音楽なら、オリジナルからオールディーズまでレパートリーの幅も広



木栄会バンド  
サイドギター(右) 一柳 完治さん(35)  
リードギター(中) 花井 清さん(39)  
ベースギター(左) 福井時男さん(40)  
キーボード(左端) 磯口龍一郎(36)

い。木栄会のバンドのメンバーの一人花井清さん(大阪木材工場団地(協))にもお話を伺いました。「このレコードは、レコーディングスタジオを使わずウッドルーム大阪の研修室でレコーディングしました。研修室はスタジオと変らないうほど音響効果も良く、ピアノ、アンプ、ミキシング、各種機材もそろっています。「木の良さ」を少しでも多くの方々に理解してもらいたいという私どものアビールです。これを機会に身近にあるウッドルーム大阪の研修室を講演会の他にも音楽の発表会に多に利用して頂きたいと思います。」

※レコード(全二二百円美費)についてのお問い合わせ  
美原町木材通四丁目一―二  
ウッドルーム大阪  
☎0723―61―2030

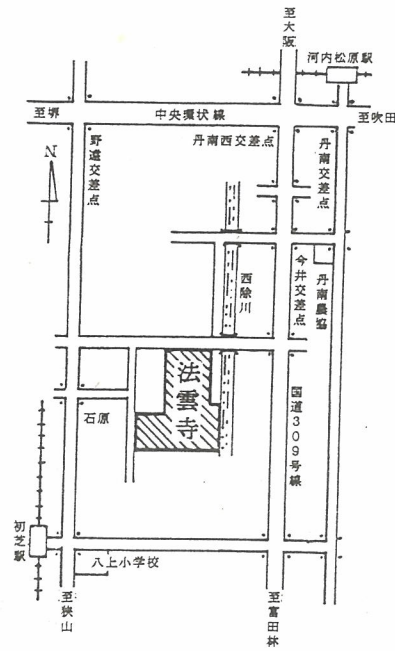
◇ 広報紙“あたらしき大地”の新企画について

去年12月に実施しました広報紙“あたらしき大地”に関するアンケート調査の結果、皆様のご要望に沿って次の5つが新企画として今月号より掲載されることになりました。

1. 地域(美原町)紹介 “地域あれこれ”
2. 木材団地周辺の味(たべもの)紹介 “周辺の『味』散歩”
3. 新刊書籍紹介
4. 組合員企業の女子社員紹介 “団地ギャルの横顔”
5. クロスワードパズル







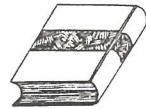
お問合せ 南河内郡美原町今井  
 禅宗の名利 法雲禅寺  
 ☎ 0723-61-4419  
 (磯口龍一郎・井上嘉織・記)



〔新刊書紹介〕

1. 組合新規購入図書

- アメニティ都市への途  
 (社)日本都市計画学会編著 (株)ぎょうせい
- 昭和62年版建設白書  
 建設省編 大蔵省印刷局
- 昭和62年度版住宅経済データ集  
 建設省住宅局住宅政策課監修 (株)住宅産業新聞社
- 昭和62年度版建築統計年報  
 建設省建設経済局調査情報課監修 (財)建設物価調査会
- 新訂公益法人の理論と実務  
 公益法人実務研究会 (財)公益法人協会
- 公益法人会計  
 番場嘉一郎・新井清光編著 中央経済社



2. 組合員推薦図書

- 北京発特電  
 李永得・徐璐著 講談社 1,200円  
 若年台湾記者の中国大陸初レポート。
- 断食療法  
 武岡正著 東京経済 1,200円 若返り、老化のメカニズムを解く。



- 木材はなぜ使われないか  
 内田京治著 全国林業改良普及協会 750円
- 金融大崩壊  
 牧正人史著 徳間書店 720円 データーが明かす次の大暴落日。
- 一休を歩く  
 水上勉著 日本放送出版協会 1,500円 人々の心を捉えた破戒僧。
- ドクターハマー  
 アーマード・ハマー ダイヤモンド社 2,800円  
 ロシア人を父に、米国籍の著者がルーズベルト、レーニン等米ソの要人を陰でいかに操ってきたか。
- 先哲講座  
 安岡正篤著 竹井出版 1,200円 各方面の情報収集より、真剣に歴史を。
- 図説検証原像日本  
 旺文社 全5巻で1月より5月迄のシリーズもの。第1巻のみ2,900円、次巻より3,200円。考古学が判り易く身近に感じられる。(椎 繁弘・推薦)



【団地ギャルの横顔】 …… その1

(株)高島屋工作所 上島宣子さん S37.5.4生 (牡牛座)



会社では総務の仕事を担当されている宣子さんは、今、大阪狭山市内の自動車教習所に通っておられ、一日も早く免許をとって、自分で運転してドライブ(趣味)したいとのことでした。

スポーツはテニス(少々)、スキー(少々)とか。また、音楽はユーミン、マドンナなどのファンだそうです。

好きな男性のタイプは、思いやりのある誠実な人、一世風靡セピアの柳葉敏郎が理想のタイプで、ちなみに結婚は28歳までにしたいとか。

木材団地については、都会みたいにセコセコしてはなく広々として緑がきれいだけど、会社や工場ばかりで歩いて行ける喫茶店等が少ないので、さみしいと話しておられた。

次号(5月号)は緋紅中の林田かおりさんの横顔です。

企業を守る損害保険のことなら  
 (株)大阪木材団地サービスへ

各種 火災・傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町木材通四丁目1番1号

大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670~1

# ◆ クロスワードパズル No.1.

(解き方) 各マスにカタカナを1文字ずつ入れて下さい。最後にアルファベットの  
あるマスの7文字をABC順につなぐと答えができます。

(ヒント) ためらっているのです。



1	2	3		4	5		6
7				8		9	
		B			D		
			10				
11		12			13		
				14			
			E				G
	15						16
17							18
		C					
			19				
				F			

## ヨコのカギ

- ①これは、男が女にささやくも  
のです。
- ②捕手と一塁手が使用します。
- ③山野に自生し、秋に青紫色の  
花をつけます。
- ④エッチな話。女性も結構好  
きなようです。
- ⑤宴会などのお客さま。
- ⑥畳やゴザにされる草です。
- ⑦潮干狩りでとれるごく一般  
な貝です。
- ⑧ずっとリードしていて、こ  
んな負け方はショックです。
- ⑨さあ、——がでたらそろそ  
ろ出発だ。
- ⑩危機一髪、危うく——をの  
がれた。
- ⑪重役の息子と結婚。——に  
乗るというのは、そんな場合  
をいいます。

## タテのカギ

- ①犯人などを捕えるため、  
を張って待ち構える。
- ②心配のあまり、ゆづりは  
もできなかつた。
- ③日本海に突き出た——半島。
- ④これに小便をかけると、神さ
- ⑤まの顔が当たりますぞ。
- ⑥猪苗代湖の北にそびえる山。
- ⑦アレキサンダーの場合には、  
この上にさらに「大」の字が  
つきます。
- ⑧まるくくりくりした目をい  
います。
- ⑨「愛」です。
- ⑩江戸時代に、手紙を届けた

- ⑪めにとんで歩いた人。
- ⑫先発に使うあのメンパー。
- ⑬若者の楽屋です。
- ⑭変死者の死体の取り調べ。

(応募方法) パズルNo. 1の答えと会社名、氏名を明記し、組合事務局編集部へご回報  
下さい。(ファックス可)

(賞品) 正解者5名の方に賞品を差しあげます。正解者多数の場合は抽選により  
決めさせていただきます。

(締切日) 昭和63年3月末日

## 【編集後記】

毎号大好評の“あたらしき大地”に、今月号より皆様のご要望に沿って、5つの新  
企画が登場しましたが、評価はいかがでしょう？ 従来よりソフトな企画が盛り込  
まれたように思います。

ご一読後の皆様のご感想、ご意見などお寄せいただけたら幸いです。クロスワード  
パズルへのご応募もお待ちいたしております。

“あたらしき大地”編集部